

社会福祉法人興部町社会福祉協議会
平成 28 年度 第 3 回評議員会議事録

音源での照合

1. 開催通知年月日 平成 28 年 12 月 12 日（月）

2. 開催日時及び場所

（1）日 時 平成 28 年 12 月 19 日（月）午後 1 時 30 分

（2）場 所 興部町福祉保健総合センター「きらり」・会議室

3. 評議員現員数

33 名 （平成 28 年 12 月 19 日現在）

4. 出席評議員数・監事及び氏名

■評議員 23 名

大石 彰、菅原良子、山本典子、中野奈緒美、工藤はるみ、平塚衛、坂本弘道、蘇武利雄、館下昌巳、川上孝征、原田富士雄、
木下秀昭、高原 直、上出憲吉、櫻木勇吉、小島克也、佐藤克宏、奥田賢臣、町田信一、木村秀文、大池譲、安藤法幸、
渋谷孝一

■監事 2 名

岩井 正、山下 栄

5. 出席理事・職員数及び役職氏名

（1）理事 4 名

会長 櫻木トモ枝、副会長 矢野政一、副会長 有坂廣光、常務理事 大内善雄

（2）職員 5 名

事務局長 高橋幸大、通所介護事業管理者 瀬川真奈実、訪問介護事業管理者 増田留子、
総務主任 卯城美保、事務職員 阿部芳美

6. 付議事項

報告第 1 号 監査報告について

報告第 2 号 常務理事の配置に係る経過について

議案第 1 号 社会福祉法人興部町社会福祉協議会 平成 28 年度第 2 次補正収支予算について

議案第 2 号 社会福祉法人興部町社会福祉協議会 定款の全部改正について

議案第 3 号 社会福祉法人興部町社会福祉協議会 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について

議案第 4 号 社会福祉法人興部町社会福祉協議会 定款細則の一部改正について

議案第 5 号 社会福祉法人興部町社会福祉協議会 経理規程の一部改正について

議案第 6 号 社会福祉法人興部町社会福祉協議会 役員等の費用弁償に関する規程の一部改正について

議案第 7 号 社会福祉法人興部町社会福祉協議会 処務規程の一部改正について

議案第 8 号 社会福祉法人興部町社会福祉協議会 役員・評議員選任規程の一部改正について

議案第 9 号 社会福祉法人興部町社会福祉協議会 事務局規程の一部改正について

議案第 10 号 社会福祉法人興部町社会福祉協議会 会員規程の一部改正について

議案第 11 号 社会福祉法人興部町社会福祉協議会 顧問設置規程の廃止について

議案第 12 号 社会福祉法人興部町社会福祉協議会 常勤役員報酬規程の廃止について

事務局長 ～ 皆様、こんにちは。それでは本日の会議の成立についてご報告申し上げます。本日の評議員出席人数 23 名、定款第 15 条第 7 項の規定に基づきまして本日の評議員会は成立致します。それでは、これより平成 28 年度第 3 回評議員会を開催致します。会議開催にあたりまして櫻木会長よりご挨拶を申し上げます。

櫻木会長 ～ 皆様、こんにちは。今年も残すところ 10 日余りとなりまして、年の瀬を迎える慌ただしさを感じるようになってまいりました。今日は皆様方には何かとお忙しい中、ご出席を頂きましてありがとうございました。また皆様方には日頃より社協事業に対しましてご協力いただいておりますことに心より厚く御礼を申し上げます。今日ご提案します案件は報告 2 件、議案 12 案件でございます。経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性、財務規律の強化など福祉法人制度の改定によりまして定款の全部改正を行うものでございます。それに伴いまして会則、各種規程の一部改正を行うものでございます。詳細につきましては事務局より説明を致します。どうぞご審議いただきご決定くださいますようお願いを申し上げまして挨拶と致します。どうぞよろしくお願い致します。

事務局長 ～ それでは本日の評議員会ですが、付議事項案件として報告事項 2 件、議決事項 12 件でございます。先にお手元の資料について確認を行わせていただきます。本日の評議員会議案が 1 部。次に資料の 1、監査結果報告書、資料の 2、2 次補正収支予算書。資料の 3、社会福祉協議会定款。資料の 4、評議員選任・解任委員会運営細則。資料の 5、細則・規程改正新旧対照表。資料の 6、興部町社会福祉協議会部会設置規程。資料の 7、定款改正に伴う各種規程・規則等の一部改正箇所。資料の 8、法人社協モデル定款例（案）目次と書かれている資料。資料の 9、理事会・評議員会の決議行為。資料の 10、会計監査人の設置義務法人の範囲について。興部町社会福祉協議会役員名簿、評議員名簿で A3 に 1 枚にしているもの。会議出席者数率の表が 1 部。それと社会福祉法人定款例及び法人社協モデル定款（平成 28 年 11 月改定）比較表ということで本日使用します資料となっております。それでは会議次第の 3、議長の選任となりますが、議長が決まりますまで櫻木会長が仮議長を務めて進行します。櫻木会長よりよろしくお願い致します。

櫻木仮議長 ～ 会議の議長が決まりますまで、私が仮議長として進行します。それでは議長を選任することについてどのような方法で議長を選任したら良いか、皆様のご意見をいただきたいと思いますが、どうでしょうか。

館下評議員 ～ 会長に一任します。

櫻木仮議長 ～ 会長に一任というご意見がございました。私から指名することよろしいでしょうか。

評議員一同 ～ はい。

櫻木仮議長～ ありがとうございます。それでは本日の議長について私からご指名させていただきます。本日の会議の議長には 大石 彰さんをご指名いたします。大石さん、どうぞよろしくお願い致します。

議長 ～ 只今、会長さんより議長をご指名をいただきました 大石 と申します。何分にも不慣れなこの席ではございますので、皆様のご協力を頂きまして、議事の進行を致しますので皆様にはよろしくお願い申し上げます。それでは会議次第の 4「議事録署名人の選任」でございますが、私より指名させていただいてもよろしいでしょうか。

評議員一同 ～ はい。

議長 ～ ありがとうございます。それでは私からご指名させていただきます。本日の議事録署名人には 山本 典子 さん、小島 克也 さんのお二人をお願い致します。後日、事務局にて議事録を作成致しますので、ご確認の上、署名・捺印をお願いいたします。それでは、会議次第の 5、議案審議に入ります。すでに皆様のお手元に事前に議案を配布され事前にお目通ししていただいているかと思いますが、資料が多いためそれぞれご確認方よろしくお願い致します。それでは報告第 1 号「監査報告について」を議題と致します。提案者の説明を求めます。

事務局長 ～ 報告第 1 号「監査報告について」説明をいたします。資料の 1 をご用意ください。本年度 7 月から 9 月の第 2 四半期の会計監査を岩井監事、山下監事の両監事により去る 10 月 27 日に監査を受けたところでございます。お二方の監査によって「会計事務処理、予算執行状況について適正に行われている」旨の監査を受けましたので、ご報告申し上げます。以上で報告第 1 号の説明を終わります。

議 長 ～ 報告第1号の説明が終わりました。質疑等があればご発言をお願いいたします。ございませんか。

評議員一同 ～ ありません。

議 長 ～ はい、質疑なしと認めます。以上で報告第1号を終了致します。次に報告第2号「常務理事の配置に係る経過について」を議題といたします。提案者の説明を求めます。

櫻木会長 ～ はい。

議 長 ～ はい、櫻木会長。

櫻木会長 ～ 常務理事の配置につきましては、私のほうから報告をさせていただきます。町から大内常務理事を送り出すのを3月で終わりにしますとの話がありました。引き続きお願いいたしますとお願いをした訳でございますが、大内さんの上げた成果を評価するのでご理解をいただきたいとでございます。それを受けまして三役、常任理事会で話し合いをさせていただきました。現在の社協運営状況では社協独自の財源で常務理事の配置を行うことが非常に難しいこと、今後多少の業務が増大したとしても現在の職員体制で業務の推進は可能であること。また、職員同士の連携についても万全であると判断をしまして、来年度からの常務理事の配置につきましては行わないと結論を出させていただきました。どうぞご理解を頂きますようお願いを申し上げ、報告とさせていただきます。

議 長 ～ 報告第2号の説明が終わりました。質疑があればご発言をお願い致します。ございませんか。

評議員一同 ～ ありません。

議 長 ～ それでは質疑なしと認めます。以上で報告第2号を終了致します。次に議案第1号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 平成28年度2次補正収支予算について」を議題といたします。提案者の説明を求めます。

卯城主任 ～ 議案書の5ページをご覧ください。補正予算につきましては、経理規程第20条、予算執行中に、予算に変更事由が生じた場合には、会長は補正予算を作成し、理事会の承認を経、原則として評議員会の議決を得なければならない。の規定に基づき議決をお願いするものです。A3サイズの資料2と書かれた2次補正収支予算をご覧ください。1ページから5ページは全サービス区分を含む法人全体の合計額となります。こちらの合計の方では、今回補正を行わない受託事業及び障害福祉サービスの区分の予算現額や補正後予算額についても合算されておりますため、以下のページで今回補正をお願いするサービス区分別の補正前予算、補正後予算を足した数字とは一致しない部分もございます。補正となりますので、内容についてはサービス区分別に説明させていただきます。まず、法人運営本部サービス区分からです。6ページご覧ください。中段に記載の共同募金配分金収入にて14万3千円の増額を行います。法人本部サービス区分につきましては、12月に町との予算要望のため、予算を作成しております。早い時期での算定作業となり、共同募金からの配分金収入については、平成27年度の募金使途計画（27年度に集めた募金を28年度事業に助成）に基づき予算としておりましたが、昨年度の赤い羽根共同募金の募金協力をいただきました実績額が、当初の目標額を上回りましたため、審査委員会の審査を受け、社会福祉協議会で行う地域福祉事業へ助成となっているものです。続きまして、7ページ、下から5段目をご覧ください。事業費支出のうち、業務委託費支出にて18万円の増額を行うものです。こちらにつきましては、給食サービス事業において、利用人数の増加がありましたため、調理委託に係る業務委託費を増額するものです。続いて、9ページの一番上をご覧ください。収支の補正を合わせ、事業活動資金収支差額として3万7千円を減額し、補正後予算額△83万4千円となるものです。一番下の段の当期末支払資金残高も同額の補正となり、補正後予算額741万9千円とするものです。続いて10ページ、訪問介護サービス区分です。こちらについては、支援ハウスと按分で予算を見ておりました常勤臨時職員1名が7月に退職となり、その後常勤・正規区分での補充採用を行わないため、減額補正を行うものです。職員給料支出で29万円減額、職員賞与支出で14万8千円減額、中小企業退職金共済掛け金で1万2千円減額、法定福利費で7万6千円減額、人件費全体で52万6千円の減額補正となるものです。11ページの下から5段目をご覧ください。助成金支出において予算をみておりました介護福祉士等の資格取得助成金について、合格者1名のみとなりましたため、助成実績に合わせ、14万8千円の減額を行うものです。以上の収支補正を合わせ、下から3段目事業活動資金収支差額は67万4千円の増額となり、補正後予算額△493万2千円とするものです。12ページ一番下、当期支払資金残高も同額の補正となり、補正後予算額675万2千円とするものです。続いて、13ページをご覧ください。通所介護サービス区分です。こちらにつきましては、利用人数の減少に伴い、介護保険事業収入の減額補正を行うものです。まず介護報酬収入では要介護者の報酬、予防支援者への報酬合わせて154万3千円の減額、利用者負担金収入といたしましては、要介護者の利用料の減額、要支援者の利用料の増額の差引といたしまして、利用者負担金

収入全体で5千円の減額となります。利用者等利用料収入には、デイサービスでの昼食利用料の計上を行っており、公費、一般合わせ、11万5千円の減額を行い、上にあります介護保険事業収入全体では166万3千円の減額となるものです。15ページをご覧ください。中段に記載の事業活動資金収支差額については介護保険事業収入の補正額と同じく166万3千円の減額を行い、補正後の額△615万7千円とするものです。そのため、下から8段目、サービス区分間繰入金収入にて他の区分からの繰入金を133万2千円増額補正し、補正後の額416万2千円とするものです。これらの補正を合わせ、一番下に記載の当期末支払資金残高については、33万1千円減額補正となり、補正後の額0円とするものです。続いて、16ページをご覧ください。生活支援ハウスサービス区分です。こちらにつきましては、訪問介護サービス区分と同じく訪問・支援ハウスにて按分となっておりました常勤職員1名の退職による人件費の減額と、支援ハウスにて日中から夜間の勤務となっております非常勤職員1名について、勤務時間の増加があり、その人件費の増額を行うものです。職員給料支出は151万4千円の減額、職員賞与支出は27万2千円の減額、中小企業退職金共済掛け金は4万8千円の減額を行います。こちらは常勤職員に係る減額分となります。非常勤職員給与支出は59万8千円の増額を行います。法定福利費支出につきましては、常勤職員に係る減額と非常勤職員に係る増額の差引となり、17万8千円の減額となるものです。人件費全体では141万4千円の減額となります。18ページの一番上をご覧ください。事業活動資金収支差額については人件費の補正額によるものとなり、141万4千円の増額、補正後の額を54万6千円とするものです。下から7段目、サービス区分間繰入金支出として、同じく指定管理として行っております、通所介護サービス区分への繰入金を133万2千円増額するものです。一番下の当期末支払資金残高については、8万2千円の増額となり、補正後の額776万1千円とするものです。以上で補正予算の説明とさせていただきます。ご審議賜りますようお願いを申し上げます。

議長 ～ ありがとうございます。議案第1号の説明が終わりました。これより質疑を行います。質疑があればご発言をお願い致します。ございませんか。

評議員一同 ～ ありません。

議長 ～ ありがとうございます。質疑なしということでございますので、質疑を終了致します。採決を行います。採決については評議員33名の過半数17名以上の賛成が必要です。その確認を行わせて頂きます。それでは議案第1号の採決を致します。原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

評議員一同 ～ （ 挙手 ※人数確認 ）

議長 ～ ありがとうございます。賛成多数、評議員総数の過半数の賛成を確認いたしました。よって議案第1号は原案のとおり可決されました。続いて、議案の審議を行います。関連がございますので、議案第2号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 定款の全部改正について」、議案第3号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について」、議案第4号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 定款細則の一部改正について」、議案第5号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 経理規程の一部改正について」、議案第6号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 役員等の費用弁償に関する規程の一部改正について」、議案第7号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 処務規程の一部改正について」、議案第8号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 役員・評議員選任規程の一部改正について」、議案第9号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 事務局規程の一部改正について」、議案第10号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 会員規程の一部改正について」、議案第11号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 顧問設置規程の廃止について」、議案第12号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 常勤役員報酬規程の廃止について」までを一括で説明致します。提案者の説明を求めます。

事務局長 ～ はい。

議長 ～ はい、どうぞ。

事務局長 ～ 社会福祉法の改正により社会福祉法人制度の改革が平成29年4月1日より行われることに伴いまして、定款の全部変更が必要なことから、そのことにより来年4月からの評議員を選任するための運営細則の制定、また定款細則の一部改正、それと各種規程の一部改正が必要なことから一括にてご説明をさせていただきます。はじめに議案第2号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 定款の全部改正について」ご説明を申し上げます。資料の3、それとA3横の資料で社会福祉法人定款及び法人社協モデル定款（平成28年11月改定）比較表と書いております資料をご用意ください。はじめに定款変更における事前打ち合わせ等を行いました経過について、触れさせていただきます。興部町社会福祉協議会の定款の全部変更については、まず11月11日に三役での事前打合せを11月18日に三役会議を正式に行っております。そして11月25日には三

役、常任理事、監事においての定款変更に関する意見交換会を実施し、検討をしたところでございます。また意見交換会においては評議員の定数について、興部町においても人口減少が顕著に見られることから法人設立時と比較した中での評議員定数維持は更に厳しいものになるという見解を持ったことから、評議員定数を17名へと考えたところでございましたが、そのうち自治会母体からは12名とすることが望ましいと考えまして、関係機関へ推薦を打診させていただこうということで進められることでございましたが、関係機関とのご相談の中では「人口減少はあるが自治会数は減っていないことと、社協からの必要な情報提供が行き届かなくなること、また住民の関心が薄れてしまうのではということ」を懸念された意見を頂戴いたしまして、再度、三役における協議を12月1日に、そして12月2日には三役・常任理事・監事の意見交換会を再度実施いたしまして、評議員の定数またそれに付随する規程等についても協議を重ねられたところでございます。今回は定款の全部変更となりますことからモデル定款に沿った内容での変更という部分で協議を重ねられております点も踏まえましてのご説明をさせていただきます。それでは、資料の3、定款の1ページをご覧ください。社会福祉法人興部町社会福祉協議会定款、第1章 総則。第1条については(目的)について謳う規定でございます。第2条については(事業)であり、第1条の「目的」を達成するために行なう「事業」についてを謳っている規定でございます。第3条については(名称)であり、本会の名称についての規定でございます。第4条については(経営の原則)ということで、サービスの質の向上や生活課題の解決に取り組むという規定でございます。第5条については(事務所の所在地)で本会事務所の所在地を示す規定です。第2章 評議員、第6条(評議員の定数)です。今回の定款変更では、評議員定数を「何名以上何名以内を置く」という表記が可能となり、欠員が生じた場合においてもある一定程度の余裕を持ちました評議員の定数範囲を示すことのできる内容となることから、本会においても冒頭でお話をさせていただきましたように、三役会議や意見交換会においての検討を重ねていただいたところでございます。さらに関係機関からのご意見を踏まえまして、現行の33名を維持した中という考えであり、第6条の評議員の定数については「この法人に評議員30名以上33名以内を置く。」という考えが意見交換会におきましては進めていきたいと論議されたところでございます。次に第7条(評議員の選任及び解任)です。今回の社会福祉法の改正において、平成29年4月1日からの評議員を選任する委員会を設置し、施行日前までに新たな評議員を選任しなければならないこととなります。第7条ではその内容を謳い、第2項では委員会の構成を示す内容で、監事1名、事務局員1名、外部委員3名の合計5名ということで意見交換会においては議論を重ねたところでございます。この外部委員については1名以上を置かなければならないことと、外部委員が反対意見を示すことで否決されるなど一定のルールがあることや、また外部委員が欠席した場合には会議が開催できないことから、複数名が必要であること、意見が割れた場合も想定し3名とすることが望ましいということでございます。外部委員に想定される方については、社会福祉に見識の深い方、特に社協との関わりについて熟知している方ということで、従前に社協の役員等としてお務めいただいた方などがよろしいのではということをご想定してございます。第6項の「評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の2名以上が出席し、かつ、外部委員の2名以上が賛成することを要する。」とするものです。

続いて第8条について(評議員の資格)について謳っている規定でございます。第9条の(評議員の任期)です。社会福祉法人制度の改革として「経営組織の見直し」という観点から、より法人運営に関する組織基盤整備を行わなければならないということでございまして、重要事項の議決機関としての評議員会に位置づけられます。社会福祉法の第41条では「評議員の任期は選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、定款によってその任期を選任後6年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで伸長することを妨げない。」となりますが、現状の評議員様へのご負担も考慮し、ご理解もいただかなければなりません。そのようなことから評議員の任期は「選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで」とするものでございます。続いて第10条です。(評議員の報酬等)については、規程に定めます費用弁償にて対応するというところでございます。第3章 の評議員会、第11条(構成)について、謳いました規定でございます。第12条(権限)については、評議員会の決議によって決められる事項の規定でございます。続いて第13条(開催)については、決算報告、予算計画をお示しする時期での会議開催を規定したものでございます。3ページに入ります。第14条(招集)です。こちらは会議招集について触れた規定となっております。第15条は(議長)についての規定でございます。第16条は(決議)について謳っている規定でございます。評議員会は過半数の出席、その過半数をもって行われます。ただし、第2項において、監事の解任、定款の変更、その他法令で定められた事項については「利害関係を除く評議員の3分の2以上にあたる多数をもって行わなければならない」ということでございます。第4項におきましては「評議員の全員が書面または電磁的記録により同意の意志表示をしたときは評議員会の決議があったものとみなす」と謳われておりますが、評議員全員から書面または電磁的記録を提出していただくことで実際に評議員会を開催しないで評議員会の決議を得ること、決議全般に適用可能となるものでございます。ただし、実際には評議員会を開催することが基本でありまして、現実といたしましては有事、緊急的なこと、災害時などを想定しているとのことで、北海道オホーツク総合振興局のご担当様からご指導を先日いただいたところでございます。第17条は(議事録)についての規定となっております。続きまして、第4章 役員です。第18条(役員の定数)です。ここで別紙をお配りしております「会議出席者数 A3の1枚もので、左側、黄色のラインで理事会 会議出席者数率」とあります資料をご用意ください。理事会におかれましては、過去10年の会議出席率としては表の1番下の

段になりますが、平均で93.4%の出席ということで会議が実施できている状況であります。現状13名の理事、2名の監事ですが、選出団体の分野と構成のバランスも勘案した中で現状維持が望ましいという議論が展開されてきたところです。定款に戻って頂きまして、そこで18条ですが、「理事については10名以上13名以内とし、監事については2名以内とする」という内容でございます。続きまして、第19条ですがこちらは（役員の選任）についてを謳いました規定になってございます。

次の第20条は（役員の資格）についての規定でございます。4ページに入りまして、第21条に参ります。こちらは（理事の職務及び権限）についてを謳っている条項でございます。次に第22条は（監事の職務及び権限）についての規定になってございます。続きまして第23条は（役員の任期）についての項目です。「選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任は妨げない。」とするものでございます。続いて第24条は（役員の解任）についての規定となっております。第25条は（役員の報酬等）について謳っており、本会では役員等の費用弁償に関する規程に沿って対応を行うというところでございます。続いて、第5章の理事会です。第26条、こちらにつきましては理事会の（構成）についての規定でございます。第27条につきましては（権限）でございまして、理事会また会長の専決について触れられている規定になってございます。次に第28条の（招集）、こちらは理事会の招集について謳っている規定でございます。続きまして第29条（議長）です。理事会の議長について触れられている規定でございます。第30条です。

（決議）についてであります。理事会の決議は過半数の出席、その過半数をもって行なわれます。現行定款での3分の2の出席が必要であった部分からは変わりますが、書面議決による出席が認められていた部分が変わってくるということでの内容になります。続きまして、5ページへお進みください。第31条（議事録）です。こちらにつきまして、今後は議事録署名については出席いたしました会長及び監事さんが署名・捺印を行うこと変わって参るということでございます。続いて第6章、会員です。社協の会員についての内容に触れた条項となります。続きまして、第7章、第33条は事務局及び職員についてを謳っております。第3項ですが「この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において選任及び解任する。」とありますが、ここでの施設長という取扱いについては、通常の特養を経営する福祉会での施設長ということを指しております。興部社協におきましては指定管理のデイサービス、高齢者生活支援ハウスの施設長を配置しておりますが、これは興部町の条例に基づく施設長の配置でありまして、社協においてはあくまでも運営の管理ということでございます。福祉会のように施設管理を行うということでの取扱いはないため、ここで示されている福祉会の施設長という考えとは違いますが、ことごとくご理解をいただきました中での定款の改正でありますこと、よろしくお願いしたいと思います。続きまして第8章の（資産及び会計）で、第34条では（資産の区分）についてを。第35条では（基本財産の処分）についてを。第36条では（資産の管理）についてを。第37条におきましては（事業計画及び収支予算）を。第38条では（事業報告及び決算）について触れております。続いて第39条では（会計年度）についてを。第40条では（会計処理の基準）についてを規定しております。第41条では（臨機の措置）に関することを。第42条では（保有する株式に係る議決権の行使について）の規定でございます。続きまして第9章では解散です。第43条では解散に関すること。第44条では（残余財産の帰属）についての条項となっております。次に7ページにお進みください。第10章、第45条では定款の変更について謳っているものになります。次に第11章、第46条では（公告の方法）に関すること。第47条では（施行細則）についての規定でございます。附則については設立当初の役員を記載し、一番下の附則ですが、平成29年4月1日が法改正施行日となりますが、施行日前までに評議員を選任することが必要となることから、第7条の規定については評議員会にて決議が行われます平成28年12月19日より適用とするものでございます。本日の添付の資料の10「会計監査人の設置義務法人の範囲について」という資料がございます。改正法におきまして、一定規模を超える法人に対して、会計監査人による監査が義務付けられることとなります。1枚目の下の点線枠内をご覧ください。こちらが設置義務が課せられる社会福祉法人を示しております。「平成29年度、30年度において収益30億円を超える又は負債が60億円を超える法人。平成31年度、32年度において収益20億円を超える又は負債が40億円を超える法人。平成33年度以降は収益が10億円を超える又は負債20億円を超える法人。」段階的ではありますが対象範囲が拡大していきます。現段階において興部町社会福祉協議会の収益、負債ともにそれらの会計監査人による監査の義務付け対象範囲から外れることとなりますこと申し添えさせていただきます。これで議案第2号についての説明とさせていただきますが、続きまして、議案第3号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の制定について」説明を申し上げます。資料の4の評議員選任・解任委員会運営細則をご用意ください。社会福祉法人興部町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の制定について、社会福祉法の改正に伴いまして、定款細則第2条第1項第7号「定款細則、その他の規定の制定及び変更」、定款第16条第1項第7号「その他、この法人の業務に関する重要事項で理事会において必要と認める事項」の規定に基づき議決を求めるものでございます。運営細則については、細則のモデルに沿って作成を行っておりますが、新たな定款と連動する部分もございましてその点を踏まえてご説明を申し上げます。それでは第1条。こちらは（目的）について謳っております。第2条は（委員会の設置）について謳ってございます。第3条（委員の構成）ですが、監事1名、事務局員1名、外部委員3名の合計5名としたところで、定款と合わせて細則についても同じ人数での委員構成でございます。第4条の（委員の選任及び任期）です。第2項の委員の任期は、「就任後4年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで」となるものでございます。続いて第5条、こちらは（委員の報酬等）について謳った規程の内容になります。次に第6条です。（招集）

について謳っており、会長が招集するという事になってございます。第7条について（招集通知）について謳われております。次に第8条ですが、委員会の（議長の選任）について謳った内容でございます。第9条、（評議員候補者の推薦及び解任の提案）ということで、その提案は理事会が行うということでございます。続きまして第10条の（評議員の選任）です。評議員の選任については、経歴、候補といったしました理由の説明を受けたいという選任・決議について行うということでの規定となっております。続いて、第11条です。（評議員の解任）について決議を行なう規定でございますが、社会福祉法における役員として不適任の項目でお示しがありますように成年後見人や被保佐人、また刑法の罰則に関する者ということが想定されております。次に第12条の（決議）です。定款と同様に委員会の決議において、外部委員は2名以上出席、かつ2名が賛成ということで謳う規定でございます。続いて第13条（議事録）です。委員会の議事の記録についての内容についてを謳う規定でございます。続いて第14条は（補則）についてを謳っております条項です。第15条については（改廃）について謳う内容でございます。一番下の附則については、定款と同様に施行日となります。平成29年4月1日から施行し、評議員会決議日となります平成28年12月19日とする内容であります。以上で議案第3号「評議員選任・解任委員会運営細則の制定について」の説明でございます。続きまして、議案第4号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会定款細則の一部改正について」主任より説明致します。

卯城主任 ～ 以下、細則及び、規程の一部改正及び廃止については、社会福祉法の改正に伴う定款等の改正に連動するものとなります。資料5と書かれたA3サイズの細則・規程の一部改正の新旧対照表をご覧ください。具体的な改正点についてご説明させていただきます。まずは議案第4号、社会福祉法人興部町社会福祉協議会定款細則の一部改正についてです。改正点につきましては、新旧対照表の1ページからをご覧ください。まず、第1条については、先の議案の定款の全文改正に伴い、参照となる関連条項の移動があったため、現行第36条を改正案では47条とするものです。続いて、第2条第1項です。第1号から、「予算、事業計画及び基本財産の処分の同意」、第2号「決算及び事業報告の承認」、この他、以下の各号でもモデル定款により権限範囲に変更のあった部分について「の同意」「の承認」を加えております。現行規定、第9号の「役員報酬に関する事項」については定款の改正により評議員会の権限となりますので、改正案では削るとしております。第2項についても第1項の改正を受け、参照の号数を変更するものです。続いて、第3条では、定款に新たに加わった会長の職務の執行に関する報告を第4号として細則でも加えるものです。続いて第7条第10号の議事録について、改正後の定款では、理事会と評議員会の議事録の記名押印について、記名押印者が変更となっております。細則についても合わせて改正を行うものとするものです。改正後をご覧ください、アの理事会では会長及び監事の署名又は記名押印、その年月日。イの評議員会では2ページをご覧ください、議長及び議事録署名人の署名又は記名押印、その年月日とするものです。続いて、第9条については定款の改正に伴い参照している関連条数の移動があったため、現行「第13条」を改正案「第22条」へ改め、第11条については評議員の選任機関について、現行の「理事会」を改正案では「評議員選任・解任委員会」へ改めるものです。第13条 欠員の補充について、定款の記載内容改正に合わせ、細則についても改正を行うものです。現行「前任者の残任期間」を改正案「退任した理事又は監事の任期の満了する時まで」としております。また、過去にオホーツク総合振興局の指導も頂き追加しておりました現行の「1名でも欠員が生じた場合には、速やかにこれを補充するものとする」という文言については、今回の定款改正により、定数に幅を持たせた状態とすることもあり、定数の範囲内であれば第1項前半の「三分の一を超える」という部分を活かすことができるため、改正案ではこの部分を加えておりません。2ページ下段の第15条については定款の関連条数が変更となっておりますため、現行「第12条」を改正案「第27条」とするものです。3ページをご覧ください。附則に今回の改正について「この細則は、平成29年4月1日から施行する。（平成28年12月19日評議員会決議）」を加えるものです。なお、この評議員会の決議日については今回改正の全ての規程の附則に記載するものです。

議案第5号、社会福祉法人興部等社会福祉協議会経理規程の一部改正についてです。改正箇所については、新旧対照表の4ページからをご覧ください。まずは第4条です。現行「財務諸表」という文言を改正案「計算書類」と改めます。この文言については以下の条でも散見しており、すべて同じく「計算書類」へ改正を行います。次に、同条第2項第1号からの各計算書類等の基準様式の名称の変更です。こちらについては会計基準の改正によるものです。第3項については、現行では第1号から第5号として定めております作成書類について、改正案では法人全体と拠点区分毎を分けての記載となりますため、現行規定の第3項第1号から第5号を削るとして、新たに第1号法人全体で作成するもの、第2号拠点区分ごとに作成するものとして設けております。第4項については改正案にて計算書類の名称変更及び地方消費税の文言が加わっております。4ページ下段から5ページをご覧ください、第6条の中で、サービス区分を記載しております。4ページの内容については改正がなく、5ページに記載のサービス区分について、定款の事業の改正に合わせて改正を行います。改正案ウの福祉サービス利用援助サービス区分及びケの生活福祉資金貸付サービス区分については、北海道社会福祉協議会からの受託事業のため、現行ではイ受託事業サービス区分にて除雪サービスの受託事業と纏めておりましたが、モデル定款の改正もあり、それぞれの事業でサービス区分を設けるものです。現行規定のウ・エ・オは改正案エ・オ・カとして、定款の事業名に合わせたサービス区分名としております。現行カの難病患者等訪問介護につきましては、新会計移行前に障害者支援サービスと

区分する必要がある、収入科目にて分けることができないため、経理区分として新設していたところです。しかし、現在の新会計基準では、収入科目にて障害福祉サービス事業と区分することができるため、今回のサービス区分の改正に合わせて現行規定の才障害者支援サービス、改正案ではカの障害者福祉サービスへ統合とするものです。改正案キの移動支援サービス区分及びサの生活支援体制整備サービス区分につきましては、今回の定款改正に伴い追加している事業についてサービス区分を設けております。コの心配ごと相談サービス区分については、現行ではアの法人本部サービス区分に含む形で行っておりますが、定款に事業として謳うものはサービス区分もそれに合わせて設ける事が望ましいとの振興局の指導もあり、新たにサービス区分を設けるものです。続いて、第12条の第4項については会計基準の改正に合わせ、改正案で新設するものです。第14条については財務諸表から計算書類へ名称の変更となります。第16条から6ページの第20条及び36条、第52条については定款に定める権限の変更により、それぞれ「決議」「同意」「承認」へ改正を行うものです。第38条第3項については、定款において定める定例理事会の開催時期と同じく、現行の「2ヶ月以内」を改正案「3ヶ月以内」に改正するものです。続いて第57条では改正案で第11号として「注記情報の記載」を加えております。60条から7ページの62条については財務諸表から計算書類への名称変更となります。今回の改正についてこの規程は、平成29年4月1日から施行する（平成28年12月19日評議員会決議）として附則を定めるものです。

議案第6号、社会福祉法人興部町社会福祉協議会役員等の費用弁償に関する規程の一部改正についてです。新旧対照表の8ページをご覧ください。改正箇所といたしましては、第2条改正案では第2項「役員等が、公務のため、前項に定める出張命令により出張する場合、旅費規程に基づき、旅費を支払うことができる。この場合、次の費用弁償は行わない」を加えております。また、現行の第3条を削るとし、新たに第3条を設けております。第4条については、新定款において、役員の報酬等に関することが評議員会の権限と定められたことを受け、現行の委任から改正案では改廃へ変更しております。先の規程の一部改正と同じく附則として、「この規程は、平成29年4月1日から施行する。（平成28年12月19日評議員会決議）」を加えるものです。また、8ページ下段から9ページにかけて別表の記載を行っております。こちらについて記載内容については改正を行いませんが、別表第1及び別表第2の「各種委員」にこの度の定款改正により新設となる評議員選任・解任委員を含むこととするものです。

議案第7号、社会福祉法人興部町社会福祉協議会処務規程の一部改正についてです。新旧対照表10ページをご覧ください。第2条において、参照しております定款の条項の移動により現行第15条を改正案第14条に改めるものです。続いて、現行規定第5条の常務理事の専決事項について、改正案では第4条の会長決裁事項及び現行第6条改正案第5条の事務局長の専決事項として再編を行うものです。以下条文については繰り上げを行います。改正案第4条会長の決裁事項については、第5号にて常務理事の削除、第7号にて道外の文言を削り、現行の常務の専決の第1号と統合しております。また、改正案第13号及び第14号については常務理事の専決から会長決裁へ移動しております。続いて、改正案第5条第1項第5号にて「経常的な人件費」からの文言を加え、現行第5条第3号と統合しております。11ページをご覧ください、改正案第13号から第15号については現行の常務理事の専決から局長専決へ権限を移行しております。続いて、現行第7条の第2項と第3項について、改正案第6条では、第2項の常務理事を事務局長に改正し、第3号を削るとしております。現行第10条、改正案第9条の会議については、議事録について、定款の内容が改正となりますため、「評議員の場合は議長及び出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名、又理事会の場合は会長及び監事」と改め、現行の「署名捺印」も「記名押印」と改めるものです。先の規程と同じく、附則に「この規程は、平成29年4月1日から施行する。ただし、第9条については平成28年12月19日から適用する。」を加えます。

議案第8号、社会福祉法人興部町社会福祉協議会役員・評議員選任規程の一部改正についてです。新旧対照表12ページをご覧ください。第1条第1項では定款の参照条文の条数の変更により、第1項現行の「第10条及び第17条」を改正案「第7条及び第19条」へ、また定款の記載順に合わせ、現行「理事・監事及び評議員を」改正案で「評議員及び理事・監事」として記載順を変更するものです。第2項については、「この選任規程に定めのない事項については、社会福祉法、その他の法令の定めるところによる」を加えるものです。続いて、第4条では、改正案で「区分により」の後に「評議員選任・解任委員会において」を加えるものとなります。続いて、第5条については、定款の文言と合わせ、現行「残任期間」を改正案「退任した役員及び評議員の任期の満了する時まで」と改めるものです。この規程についても、附則において「この規程は、平成29年4月1日から施行する。ただし、第4条の規定は、平成28年12月19日より適用する。（平成28年12月19日評議員会決議）」を加えるものです。

議案第9号、社会福祉法人興部町社会福祉協議会事務局規程の一部改正についてです。新旧対照表の13ページをご覧ください。まず第1条では定款の参照条文の改正で、現行第21条を改正案第33条としております。また、改正案では第2号として施設長の追加を行っております。第2条については、第1条に施設長を追加したことに伴い、改正案第2項に施設長の職務を定めるものです。現行第2項の他の職員については、改正案では第3項へ繰り下げるものです。第3条職務分掌については、第11号からの文言を定款の定めに合わせて改正を行うものです。第11号は現行「社会福祉事業の調査及び研究に関すること」を改正案「社会福祉を目的とする事業の企画及び実施に関すること」へ、第12号は現行「社会福祉事業の総合的企画に関すること」を改正案「社会福祉事業に関する活動への住民の参加のための援助に関すること」へ、第13号は現行

「社会福祉事業の普及広報に関すること」を改正案「社会福祉を目的とする事業の関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成に関すること」へ、第14号現行「社会福祉事業施設及び社会福祉関係団体との連絡調整並びに育成に関すること」を改正案「社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業に関すること」へ、第16号現行「児童、母子、老人、心身障がい者、低所得者等の福祉に関すること」を改正案「共同募金事業への協力に関すること」へ改正を行います。現行第17条「ボランティアセンターの運営に関すること」については改正案では「削る」とし、改正案第17号「福祉サービス利用援助事業に関すること」及び第18号「移動支援事業の経営に関すること」を新設するものです。現行第18号、第19号、第20号については改正案で第19号、第20号、第21号へ、現行第21号「歳末たすけあい事業及び共同募金事業への協力に関すること」については改正案では「削る」とするものです。改正案第22条に「生活支援体制整備事業に関すること」を新設し、現行第22条については改正案第23条とするものです。なお、事務局規程となりますので、老人ホームヘルプサービス事業、老人デイサービス事業等の現在各管理者を配置し、事業所として進めている事業については、定款に定める事業であっても記載は行っておりません。この規程についても、他の規程と同様14ページの附則において「この規程は、平成29年4月1日から施行する。（平成28年12月19日評議員会決議）」を加えるものです。

議案第10号社会福祉法人興部町社会福祉協議会会員規程の一部改正についてです。新旧対照表14ページをご覧ください。第1条で定款の参照条数の改正を行い、現行「定款第19条」を改正案「定款第32条」とするものです。続いて、現行第6条の雑則を、改正案では改廃として改正を行うものです。定款においてこの規程の改廃については評議員会の権限とされておりますので、その部分の改正となります。こちらの規程についても、附則にて「この規程は、平成29年4月1日から施行する。（平成28年12月19日評議員会決議）」を加えるものです。以上で会員規程の一部改正についての説明とさせていただきます。

続きまして、議案書の15ページをご覧ください。議案第11号、社会福祉法人興部町社会福祉協議会顧問設置規程の廃止についてです。顧問設置規程については、平成63年4月1日に施行し、平成28年4月1日より改正案を適用としている規程となります。この度の社会福祉法の改正に伴い、顧問の配置を行わない場合においては、定款から顧問設置に関する条項を削除することとなりましたため、規程についても合わせて廃止を行うものです。

議案書の16ページをご覧ください。議案第12号、社会福祉法人興部町社会福祉協議会常勤役員報酬規程の廃止についてです。常勤役員報酬規程については、指定管理に伴う常務理事の就任に合わせ、平成26年4月から使用している規程となります。先の定款改正等でもご説明させていただきました通り、平成29年度より常務理事の配置を行わないこととなりましたので、この規程についても廃止を行うものです。以上、定款細則・規程の一部改正及び廃止についての説明とさせていただきます。ご審議賜りますようお願いいたします。

議長 ～ 大変長い説明でしたが、議案第2号から議案第12号までの提案者の説明が終わりました。これより質疑を行います。議案第2号から議案第12号まで一括して質疑を承ります。ご質疑のある方はご発言をお願い致します。ございませんか。

木下評議員 ～ はい。

議長 ～ はい、どうぞ。

木下評議員 ～ 細則・規程の改正新旧対照表の中で、13ページの「削る」というところがありますよね。削るというのは11から16まで全部を削るということなのかな。

議長 ～ 事務局、説明をお願いします。

卯城主任 ～ 只今の木下評議員会からのご質問ですが、こちら改正案で「削る」としてありますところにおきましては、改正前のほうの(17)と書いておりますボランティアセンターに関することというのがまず一つ。こちらについてはボランティア関係の事業を行わないということではなく、皆様のお手元にもありますモデル経理規程等のほうで、ボランティア事業を他の社会福祉事業の内容と分けない形となっております、そのためこちらの明記している部分については削るとさせていただくものです。また、改正案の(21)(22)の間になりますが、改正前の(21)にあります歳末たすけあい事業及び共同募金事業への協力に関することを削っております。こちらの規定につきましては改正案の(16)で、共同募金事業への協力に関することということで記載箇所の変更があるものです。

木下評議員 ～ 歳末たすけあい事業というのは共同募金のほうでやっているからということだね。わかった。自分なりに理解するまでに時間がかかるもんだからさ。それで今後ね、わかりづらいから出来れば改正するところなんかね、どうして改正するかをまとめて1枚入っているとわかりやすいんだけど。

議 長 ～ 事務局としては、そのように努力をして下さい。よろしくお願いします。それでよろしいですか。

木下評議員 ～ はい。

議 長 ～ 他に質疑ございますか。

木下評議員 ～ それとね、もう一つ。今回の定款の改正ですよ。今日はね、この人数だと大丈夫なんですけど、先ほど今までの理事会、評議員会の出席の表がありましたよね。今まで33名の定員で表の中で、はっきり言ったら何回か定款の改正とかあったんだけど、その要件に満たすものが10件しかない、35件のうち。それから例えば30人で勘定しても20件。それと前の定款では委員の中に利害関係を除くとかのものを除いていくと満たされないような数字なんです。前から私は気付いていたんですけど、ただ出席率が悪いということをなくして欲しいということ saying 言っていたんですよ。今回はたまたまこれだけ出席されているから良いんですけども、今回の改正には評議員の重要性というのをとっておりますので、その辺を考慮して、出席しない人はほとんど決まっているんでね、今度は新しく選任するとか解任するとかなので、その辺を考慮して頂きたいと思います。以上です。

議 長 ～ はい。出来るだけ出席を促して下さいという木下さんのご意見としてということでよろしいですか。

木下評議員 ～ はい。

議 長 ～ ありがとうございます。他にございますか。

評議員一同 ～ ありません。

議 長 ～ それでは質疑なしと認めます。これより議案を採決致しますが採決にあたっては議案ごとに採決する必要がありますのでよろしくお願い致します。それでは議案第2号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 定款の全部改正について」の採決を行います。原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願い致します。

評議員一同 ～ （ 挙手 ※人数確認 ）

議 長 ～ ありがとうございます。賛成多数、評議員総数の過半数の賛成を確認いたしました。よって議案第2号は原案のとおり可決されました。次に議案第3号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について」の採決を行います。原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願い致します。

評議員一同 ～ （ 挙手 ※人数確認 ）

議 長 ～ ありがとうございます。賛成多数、評議員総数の過半数の賛成を確認いたしました。よって議案第3号は原案のとおり可決されました。次に議案第4号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 定款細則の一部改正について」の採決を行います。原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願い致します。

評議員一同 ～ （ 挙手 ※人数確認 ）

議 長 ～ ありがとうございます。賛成多数、評議員総数の過半数の賛成を確認いたしました。よって議案第4号は原案のとおり可決されました。次に議案第5号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 経理規程の一部改正について」の採決を行います。原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願い致します。

評議員一同 ～ （ 挙手 ※人数確認 ）

議 長 ～ ありがとうございます。賛成多数、評議員総数の過半数の賛成を確認いたしました。よって議案第5号は原案のとおり可決されました。次に議案第6号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 役員等の費用弁償に関する規程の一部改正について」の採決を行います。原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願い致します。

評議員一同 ～ （ 挙手 ※人数確認 ）

議 長 ～ ありがとうございます。賛成多数、評議員総数の過半数の賛成を確認いたしました。よって議案第 6 号は原案のとおり可決されました。次に議案第 7 号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 処務規程の一部改正について」の採決を行います。原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願い致します。

評議員一同 ～ （ 挙手 ※人数確認 ）

議 長 ～ ありがとうございます。賛成多数、評議員総数の過半数の賛成を確認いたしました。よって議案第 7 号は原案のとおり可決されました。次に議案第 8 号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 役員・評議員選任規程の一部改正について」の採決を行います。原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願い致します。

評議員一同 ～ （ 挙手 ※人数確認 ）

議 長 ～ ありがとうございます。賛成多数、評議員総数の過半数の賛成を確認いたしました。よって議案第 8 号は原案のとおり可決されました。次に議案第 9 号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 事務局規程の一部改正について」の採決を行います。原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願い致します。

評議員一同 ～ （ 挙手 ※人数確認 ）

議 長 ～ ありがとうございます。賛成多数、評議員総数の過半数の賛成を確認いたしました。よって議案第 9 号は原案のとおり可決されました。次に議案第 10 号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 会員規程の一部改正について」の採決を行います。原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願い致します。

評議員一同 ～ （ 挙手 ※人数確認 ）

議 長 ～ ありがとうございます。賛成多数、評議員総数の過半数の賛成を確認いたしました。よって議案第 10 号は原案のとおり可決されました。次に議案第 11 号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 顧問設置規程の廃止について」の採決を行います。原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願い致します。

評議員一同 ～ （ 挙手 ※人数確認 ）

議 長 ～ ありがとうございます。賛成多数、評議員総数の過半数の賛成を確認いたしました。よって議案第 11 号は原案のとおり可決されました。次に議案第 12 号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 常勤役員報酬規程の廃止について」の採決を行います。原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願い致します。

評議員一同 ～ （ 挙手 ※人数確認 ）

議 長 ～ ありがとうございます。賛成多数、評議員総数の過半数の賛成を確認いたしました。よって議案第 12 号は原案のとおり可決されました。以上で本日まで提案されました案件の審議は全て終了となります。私の議長の職務は皆様のご協力によりまして無事、務めることが出来たことに感謝いたしまして議長をこれにて退任いたします。皆様ご協力ありがとうございました。

事務局長 ～ 本日の議長をお務めいただきました 大石 様、スムーズな議事進行をいただきまして誠にありがとうございました。あらためまして議長をお務めいただきました 大石 様に拍手をもってお礼を申し上げたいと思います。大変ありがとうございました。それでは、会議終了に際しまして、興部町社会福祉協議会 櫻木会長より閉会のご挨拶をいたします。

櫻木会長 ～ 本日は長時間に渡りまして議案のご審議、ご決定を頂きましてありがとうございました。今回の制度改正によりまして選任委員会の選任を経て、改めて 29 年 4 月からの評議員さんを選ばなければなりません。どうぞ、引き続きお受け下さいませようをお願いを申し上げます。それではですね、大変寒い毎日が続いております。どうぞ身体にご自愛を頂きまして、元気で

良い新年を迎えて頂きたいと思います。来年在皆様にとりまして一層良い年になりますようご祈念をいたしまして終わりといたします。本日は大変ありがとうございました。

閉 会

平成28年12月19日
午後2時 57分 閉会

以上、記載の記録に相違ないことを認め、ここに署名捺印いたします。

社会福祉法人 興部町社会福祉協議会

議 長 _____ 印

(議事録署名人) 評 議 員 _____ 印

(議事録署名人) 評 議 員 _____ 印